

共催事業

分類	No.	事業名	実施団体名	実施地	実施月	事業概要	種類
音楽	1	第21回県民手づくり第九コンサート in 島根	島根第九をうたう会	松江市	12月	オーケストラ、コーラスともに広く県民から団員を公募し、7ヶ月の練習期間を経て毎年12月に行われる「第九」コンサート。毎年2割程度の新規参加者を加えながら、音楽文化の裾野の拡大や初心者を対象とした基礎練習の充実など、人づくりの視点にも力を入れている。長年の積み重ねにより技術的にも上達し、年末の恒例行事として定着するとともに評価も高まっている。	市町村文化協会の事業
	2	サウンドライブしまねアマチュアミュージックフェスティバル	サウンドライブしまね実行委員会	雲南市 大田市 浜田市 益田市 川本町 隠岐の島町	7~8月 12月 2~3月	島根に暮らしながら活動するアマチュアミュージシャンに発表機会を提供することで、アマチュアバンド文化の発展を目指す音楽の祭典。開催地の特色を活かしたコンサートやワークショップを実施し、演奏技術の向上や世代やジャンルを超えた出演者と来場者の交流、地域の賑わいづくりを行う。(今回から「アマチュアミュージックフェスティバル」に改称)	
舞踊	3	プリマヴェーラ8	島根県洋舞連盟	松江市	12月	企画、運営、脚本、演出、振付に至るまで、作品や舞台づくりの全てを連盟の会員を中心とする地元スタッフが手掛ける。今回はクラシックバレエ、ジャズダンス、石見神楽などのコラボレーション作品に取り組む。出演者は県西部から県東部までの洋舞を学ぶ小・中・高・一般の方まで70~75名を募集してオリジナル作品を上演する。ジャンルの違いを超えて互いの芸術性を認め高め合い一つの舞台を創り上げることで洋舞のレベルアップを図る。	分府別文化団体事業
美術	4	第4回創造空間	島根県写真家連盟	松江市	10月	連盟会員の写真展。県立美術館のギャラリーを利用し、会員1名当たりタテ・ヨコ2メートルのスペースを割り当て、自由な発想で作品をみせる、創造と工夫の写真展を開催する。	
映像	5	第21回しまね映画祭	しまね映画祭実行委員会	安来市 松江市 雲南市 奥出雲町 大田市 江津市 益田市 川本町	6~11月	映画館の少ない島根県で、県内各地の公共文化施設を会場に「日本一開催期間の長い映画祭」という独自スタイルで秀作・話題作を幅広く上映する。また、「環境」をテーマにした選定作品の全会場で上映、上映作品の監督や出演俳優を招いたトークイベントも開催する。さらに、映画づくりを体験することでより深く映画と地域を知ってもらい、映像文化と地域振興を支える人材育成を目的に、映画制作体験ワークショップ「しまね映画塾」を開催する。	市町村文化協会の事業
総合	6	第7回島根県高等学校文化フェスティバル	島根県高等学校文化連盟	浜田市	7月	島根県内の高等学校文化節(合唱・吹奏楽・弦楽・日本音楽・郷土芸能・演劇・吟詠・詩舞など22部門)が一同に集い、舞台発表と展示発表を行うことにより、高校文化活動を一般県民や小中学生にアピールする。また、合唱や囲碁・将棋などの部門による市民グループとの交流、「神話博しまね」の開催と重なることから演劇や郷土芸能部門でその雰囲気を感じたいことも計画する。	
伝統芸能	7	佐田町文化協会創立20周年記念スサノオの里スーパー神楽2012	佐田町文化協会	出雲市	6月 11月	活力ある神楽舞を目指して結成した若者中心の神楽団体「佐田神舞会」が、清めの舞「四方剣」を習得し、「スーパー神楽」として上演する。さらに、石見地方、芸北地方で活躍する神楽団体を招致し、共演することにより、刺激と元気と自信を得る。併せて、子どもからお年寄りまで幅広い年代層の神楽への関心呼び起こすため、「神楽の絵コンテスト」を実施する。	市町村文化協会の事業
総合	8	第3回雲南市総合芸術文化祭～箏(コト)・異(コト)・古音(コト) in UNNAN～	雲南市文化協会	雲南市	12月	雲南市文化協会の旧町村支部を超えた活動として、舞台、展示の両部門からなる総合文化祭を開催する。舞台部門では、「箏曲」をテーマに、若手25絃箏奏者「かりん」を講師に招き、近隣の小学校へアウトリーチを行い、成果を舞台公演で発表する。展示部門では、「写真」をテーマに市内写真サークルによる展覧会を開催。団体や旧町村を超えた文化交流を推進する。	
	9	第16回(平成24年度)松江市民文化祭	松江市文化協会	松江市	10月	松江市文化協会の年に一度の文化の祭典。加盟団体の作品展示や公演などを行う。食べるコーナーや遊びのコーナーを中心とした「わくわく広場」も開催して、年齢・男女を問わず幅広い方々に芸術・文化に触れてもらう。	
	10	第10回市民芸術文化祭～古事記編纂1300年記念大会～	浜田市文化協会(第10回市民芸術文化祭実行委員会)	浜田市	11月	文化協会の会員が日頃取り組んでいる文化活動を広く一般に周知し、市民との交流を深めることを目的に隔年で開催している。舞台部門では舞踊、郷土芸能、邦楽、吟詠の24団体、展示部門では華道、文芸、手芸、写真、書道の13団体が発表を行う。初日には「古事記編纂1300年」に因んだ特別記念講演会を開催、アトラクションとして朗読劇を披露する。	
	11	第8回奥出雲町芸術文化祭	奥出雲町文化協会	奥出雲町	11月	奥出雲町文化協会による年に一度の芸術文化祭。仁多・横田地域の2会場で開催され、協会加盟団体のほか、非加盟団体等による作品展示及び芸能音楽祭(ステージ発表)を行う。来場者の参加・体験コーナーなどを設け、町民の文化活動の意識向上と活動の拡大を図る。	
舞台芸術	12	ミュージカル「黄泉比良坂」公演事業	東出雲町ふるさと発見実行委員会	松江市	10月	東出雲町に伝わる神話の名所「黄泉比良坂」をモチーフとして、古事記上巻の「天地の創成」から「伊弉那岐神と伊弉諾美神～黄泉の国～」までを音楽とダンスを中心とするミュージカルとして上演する。出演者は、地元小中学校をはじめと一般から公募し、演出などもすべて実行委員会で行う。公演を通じて神話と地域のつながりを紹介し、島根のすばらしさを再認識してもらう機会とする。	神々の国しまね文化事業
伝統芸能	13	「神在の里」出雲神楽と日本舞踊～今だから伝えたい～	「神在の里」出雲神楽と日本舞踊実行委員会	松江市	8月	神話「須佐之男命の大蛇退治」を題材に、出雲神楽の「大蛇退治」と日舞の「神楽娘」を取り上げるワークショップの開催、一般公募の子どもたちによる日舞の披露、地元の幼稚園児も加えての創作神話劇「稲羽の素戔」の発表、さらには須佐之男命が大蛇を退治した喜びを表現した創作舞踊を発表する。また、地域の伝統芸能の継承及び後継者育成を目的に、子どもたちの創作神話劇のCDを作成し、図書館や幼稚園等に配布する。	
	14	稲佐の浜 夕刻篝火舞	大土地神楽保存会 神楽方	出雲市	6月	神話「国譲り」の舞台であり、神迎いの浜でもある出雲市大社町の「稲佐の浜」に舞座を設置し、その周囲で篝火を焚いて、幻想的な雰囲気の中で神楽舞を披露する。演目は「国譲り」に関するものなど、神話の世界を現実の世界に持ってきたものとする。また、石見神楽や広島神楽を招き、出雲神楽と他地方の神楽との違いを楽しんでもらう。	
	15	スサノオの里神楽舞2012～神話と鬼伝説の武勇伝	NPO法人スサノオの風	出雲市	9月	古事記、日本書紀、風土記等に記された神話伝説を基にした演目や天皇の世紀における鬼退治伝説と武勇伝を扱った演目を中心に、石見、芸州神楽で活躍する団体を招致し、地元の神楽保存会や和太鼓集団等も参加し、出雲神楽との交流神楽大会を開催する。	
	16	神々の国しまね～古事記1300年～第14回白銀の舞神楽大会	石見銀山神楽連盟	大田市	3月	大田地域で活動する神楽団体の伝統的な舞や奏楽を広く知ってもらうために開催、昨年に続き「八十神」「日本武尊」「八岐大蛇」「恵比須」など神話に因んだ演目を上演する。今回は20代前半の若手を中心として取り組み、躍動感溢れるダイナミックな舞台を目指す。また、神楽面や衣裳などを展示し、神楽の様々な魅力を紹介する。	
	17	第5回斐伊川夕刻かがり火舞	斐伊川夕刻かがり火舞実行委員会	雲南市	9月	八岐大蛇の神話に因み斐伊川沿いの会場で篝火を焚き、出雲神楽と石見神楽、子供神楽が神話をテーマにした演目を披露する。仁多乃炎太鼓が出演し大会を盛り上げるほか、ピアノとチェロの生演奏に神楽のコラボレーションで朗読劇「ヤマタノオロチ」を上演する。	
	18	石見神楽 東京・大阪公演	石見神楽東京・大阪公演実行委員会	東京 大阪	1月	平成24年に編纂1300年を迎える古事記。題材の多くが記紀神話に由来する「石見神楽」を東京・大阪の人々を対象に上演することにより、神話と歴史に彩られた島根の文化を全国に発信する。また、現代音楽と石見神楽のコラボレーションによるパフォーマンス集団「Yen Calling With オタケビ神楽団」をゲストに迎え、若年層に対しても神楽の魅力のアピールする。	

■神々の国しまね文化事業とは

「神々の国しまね～古事記1300年」にちなんで行われる芸術文化事業であって、古事記や日本書紀、万葉集などの上代文学や神話をテーマに「島根」の魅力を発信するものです。